

(款)5総務費 (項)5下水道総務費 (目)15終末処理施設管理費

◎山崎浄化センターの経費

維持管理費

浄化センター

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 流入汚水の処理を継続し、適正な施設機能の維持管理を行うため。

効果 流入してくる汚水を適正に処理すること、および施設機能を維持し延命を図る。

【事業の内容】

(1) 維持管理費

- ・公共下水道終末処理施設の管理運営について、運転管理は民間委託で、水質管理は市職員が行い良好な水質環境の維持を図った。
- ・流入水、放流水等の定期的な水質検査により、適正な水質管理、環境保全を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
560,587	588,640	564,329		24,311

主な支出内訳

・維持管理費

薬品等消耗品費	27,864
特A重油等燃料費	4,165
光熱水費	135,930
電気使用量 9,471,600kWh	
水道使用量 3,535m ³	
汚泥焼却設備等修繕料	72,111
電信料	138
電気定期点検等手数料	8,773
水処理施設等運転管理業務委託料	136,622
汚泥焼却施設運転管理業務委託料	91,980
汚泥処理処分委託料 670.50t	16,149
焼却灰処理処分委託料 501.70t	7,270
汚泥焼却設備点検委託料	11,025
焼却灰運搬委託料	4,692
電子計算機等点検委託料	26,402
脱臭設備保守等委託料	15,879
補修用資材等原材料費	969
分光光度計等備品購入費	1,115

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-48 維持管理費 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	540 終末処理場維持管理事業							
		540 水質管理事業・水質分析事業							
主管課	山崎浄化センター(浄化センター)	関連課	下水道課	道水路管理課	都市整備総務課				
分野名	下水道・河川								
目標 (目標値)	処理水1m ³ 当たりの施設管理コストの低減を図ります。(目標値62円/m ³) 事業所等の排水指導を適切に行うとともに、両浄化センターの良好な放流水質を確保します。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	水洗化人口	84,260人	83,333人	79,284人					
運営資源 状 況	決算値	564,329千円	613,636千円	535,752千円					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	564,329千円	613,636千円	535,752千円					
	人員配置数	8.8人	10.6人	11.0人					
	人 件 費	78,695千円	94,581千円	98,039千円					
事務事業 運営経費	協働の パートナー								
	総事業費	643,024千円	708,217千円	633,791千円					
	市民1人当 りの経費	3,644円	4,026円	3,621円					
	対象者1人 当りの経費	7,631千円	8,499千円	7,994千円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
放流水BOD値の平均値 (基準値15以下)	○	目標値	4.0mg/L	4.0mg/L	4.0mg/L	4.0mg/L	4.0mg/L	4.0mg/L	
		実績値	4.4mg/L	4.5mg/L					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(22年度)		
処理水1m ³ 当たりの 処理コスト	◎	目標値	64円	63円	63円	62円	62円	62円	
		実績値	69.9円	62.3円					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(22年度)		
人件費率 (人件費/総事業費)	◎	目標値	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	
		実績値	14.00%	12.24%					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)		
処理対象者 1人当たりのコスト	○	目標値	7,200円	7,200円	7,200円	7,200円	7,200円	7,200円	
		実績値	8,562円	7,631円					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	逗子市	三浦市	単位
処理場維持管理費	12,349	3,979	1,644	1,132	1,521	585	370	152	百万円/年
日平均流入汚水量	1369.0	484.7	163.9	58.0	137.0	31.7	23.2	3.9	千m ³ /日
処理単価	24.7	22.5	27.5	53.5	30.4	50.6	43.7	106.8	円/m ³
団体名	秦野市	大和市	綾瀬市	伊勢原市					単位
処理場維持管理費	559	1,298	415	556					百万円/年
日平均流入汚水量	31.9	69.6	19.0	21.5					千m ³ /日
処理単価	48.0	51.1	59.8	70.9					円/m ³

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)維持管理費の削減 (2)施設からの臭気対策
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)包括的民間委託導入委員会を設立し検討を行った。 (2)臭気発生原因の調査・測定等を行った。作業手順の見直し、消臭剤の添加試験で一部箇所の改善ができた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)本市に最も適した包括的民間委託の方法についての検討をする。 (2)恒久的な臭気対策として、脱臭設備等の改善を行う。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)現在の長期継続契約が終了する平成22年度に移行できるよう検討を続ける。 (2)設備の改善を行い、消臭剤添加による臭気低減策も併せて行い恒久的な低減を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	<ul style="list-style-type: none"> 適正な維持管理を実施し、公共用水域の水質保全を図る。 より効率的な維持管理を実現するために包括的民間委託を導入する。 エネルギー消費を最適化し、環境負荷の削減を目指す。 		
		浄化センター所長 原 秀広	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	包括的民間委託を導入し、今後も適正な施設管理に努める。		
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋